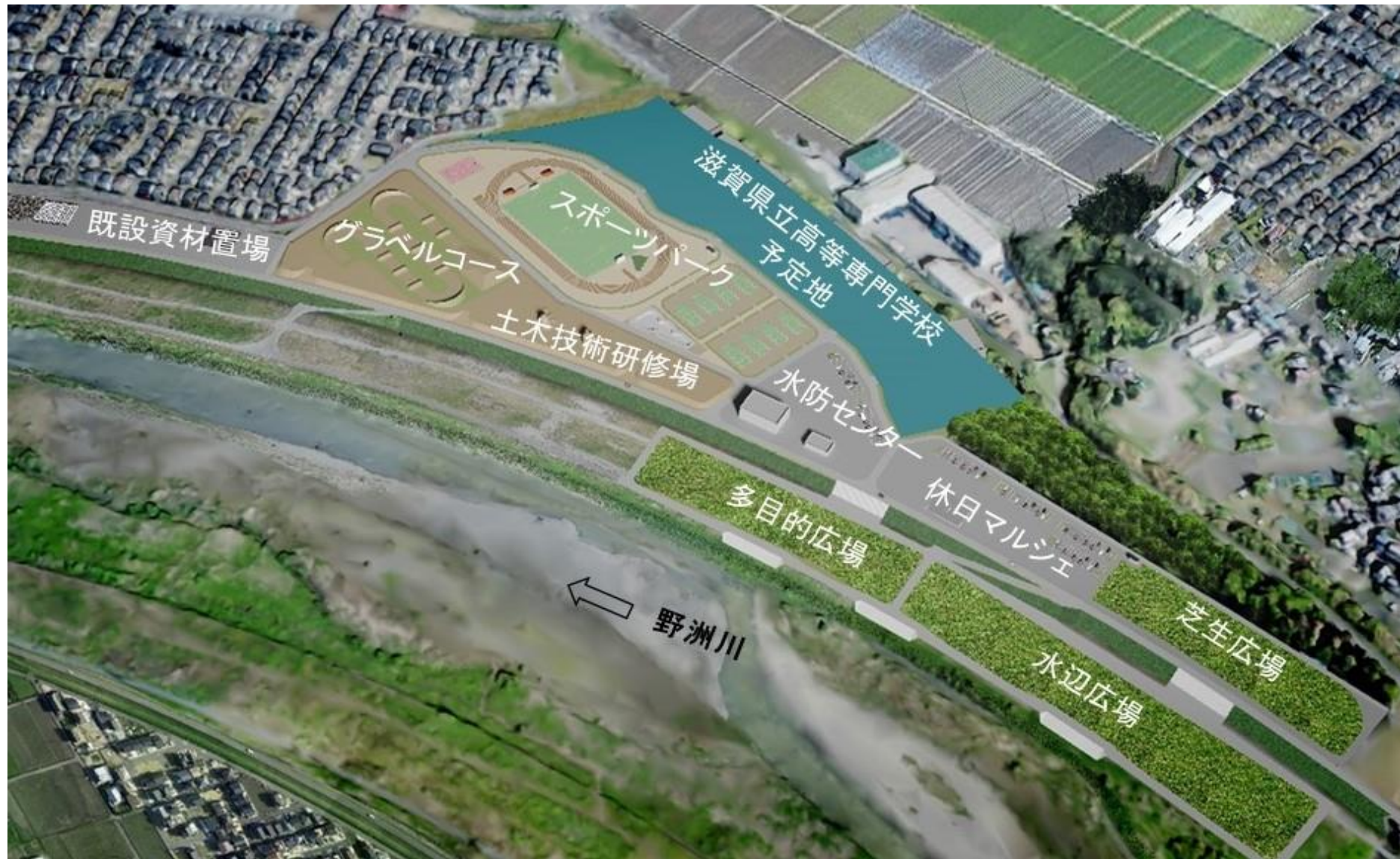


野洲川MIZBEステーション レイアウトの検討経過について

野洲市MIZBEステーションかわまちづくり計画登録時のレイアウト (令和6年8月8日時点)



野洲川MIZBEステーション レイアウト再検討

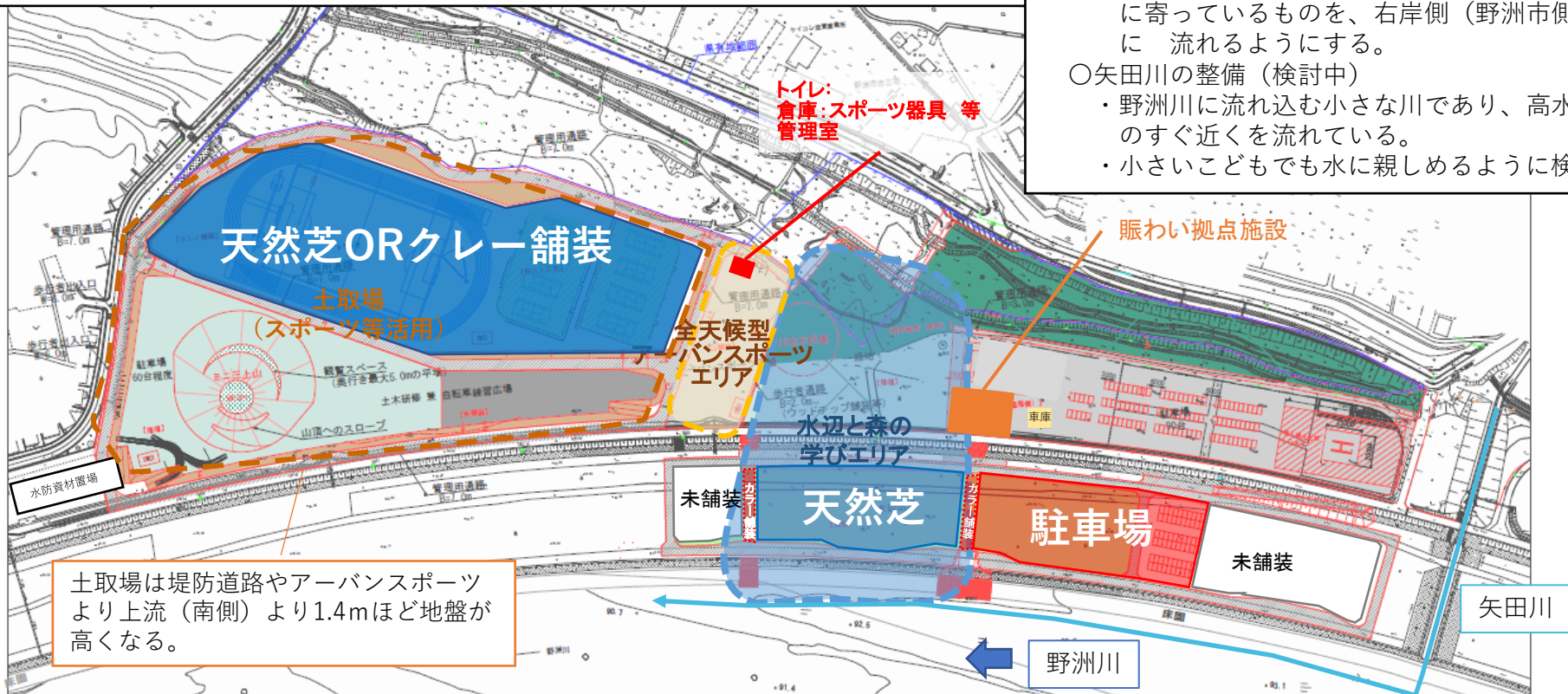
<考え方と主な変更点>

- 緑地と舗装（水防センター・駐車場等）の場所の入れ替え
→国有地と県有地の既存の樹木を残しながら森から川への一体的な自然空間を確保するため。
- 土取場でのテニスコートと大屋根設置の取りやめ
→土取場ではいつでも土砂が取れるようにしておく必要があること、及び側帯の制約から、大屋根や暗渠排水の設置が出来ないため。
- グラベルコースからミニ三上山へ変更
→現ミニ三上山は保育園児の遊び場として活用されている。イベントでのアンケートでは360度見渡せる景色の良さが魅力と評価された。
→ミニ三上山を復元する。（高さ10m前後、山頂へのスロープ、観覧スペース、張芝）
- 土取場は大屋根設置等が出来ないため、アーバンスポーツエリアから水防センターまでの範囲で重点的に投資を行い、施設の核となる部分とする。
- 維持管理費削減のため高水敷の整備範囲縮小

- ・土取場からテニスコートを削除し、天然芝orクレー舗装とする。
- ・アーバンスポーツエリアに大屋根、倉庫、管理室を設置する。
- ・高水敷の整備エリアを縮小し、緩傾斜護岸のアプローチを可能であれば舗装する。

<川の整備（川に親しむための整備）>

- 野洲川の偏流対策（検討中）
 - ・川の流れを、現在、左岸側（守山側）に寄っているものを、右岸側（野洲市側）に流れるようにする。
- 矢田川の整備（検討中）
 - ・野洲川に流れ込む小さな川であり、高水敷のすぐ近くを流れている。
 - ・小さいこどもでも水に親しめるように検討。



土取場は堤防道路やアーバンスポーツより上流（南側）より1.4mほど地盤が高くなる。

野洲川MIZBEステーションのレイアウト（案）

上面利用案 (水防センター632m²)

